

令和6年度学校評価

学校名（宮島小・中学校）

評価計画				自己評価						コメント	改善方策
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための様	評価項目・指標	目標	中間8月	最終2月	達成	評価	結果と課題の分析		
小中一貫教育のよさを最大限に生かす学校運営	4・3・2制のメリットを生かして、9年間で育てる。	コミュニケーション能力(助け合い・認め合い・支え合い)を育成するために、ブロック活動を充実させる。	「ブロック目標を達成することができた。」と答えた学園生の割合(4・7・9年)	80%							
			「ブロック目標を達成しよう意識することができた。」と答えた学園生の割合(1・2・3・5・6・8年)								
地域の財産(歴史、文化、自然)を学ぶ教育体系の確立	自己の将来、宮島の将来を考える力を育てる。	主体的・協働的に課題を解決する力をつけるために、対話を通して考えを深めさせる。	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えた学園生の割合	70%							
			「授業で学んだことを生活や他の学習で活かしている」と答えた学園生の割合	70%							
多様な学園生の育ちの場の提供	基本的な生活習慣(あいさつ)の確立をさせる。	発達段階に応じた行動目標を児童生徒に提示し、その姿を日々評価する。	「あいさつは、自分から進んでします。」と答えている学園生の割合	90%							
	多様な価値を受け入れ、認め合える集団をつくる。	学園生の特性に応じた支援について外部の専門家と意見交換し、内容や支援方針を全教職員で共通理解する。	「宮島学園は、安心して過ごすことができる学校です。」と感じている学園生の割合	90%							
ワークライフバランスのとれた元氣な職場	目的やスケジュールを意識することで、組織的な取組を実施する。	目標達成に向け、行事のスケジュールを意識し企画運営委員会、分掌会及びブロック会を計画的に実施し、状況を共有する。	タイムマネジメントを意識することで、「時間に余裕をもって業務することができた」と感じている教職員の割合	67%							
			「宮島学園で働いてよかった」と感じている教職員の割合	90%							

※ 「評価」の項目については、「達成度」は「報告期の数値/目標値」である。  
 「目標値」に対する「達成度」をA~Dで評価する。(A:100% B:80%以上 C:60%以上 D:60%未満)  
 逆転項目の評価については、A(目標値以下)B(目標値~前回数値)C(前回数値より悪化)とする。